

## ■ワイヤレス IP アクセスシステム (WIPAS) ステップ 2

2003年(平成15年)

WIPAS ステップ 1 を基に、伝送速度を 2 倍として、さらに装置を小型化した WIPAS ステップ 2 を開発しました。

ステップ 2 はステップ 1 に比べ、変調方式として QPSK (Quadrature Phase Shift Keying) のほかに 16 QAM (Quadrature Amplitude Modulation) も採用して、伝送速度を 2 倍 (80Mbit/s、イーサネットフレームレベルのデータ伝送速度は最大 46Mbit/s) にしました。

また、加入者局の装置を一体型とすることで、大幅な小型・軽量化を実現しました。

さらに、P-P モードを追加し、他のワイヤレスシステム (公衆無線 LAN サービス等) の基地局へのエントランス回線としても利用可能としました。

WIPAS ステップ 2 は、2003 年 7 月に福島県原町市に市民アクセス網として導入され、同年 11 月に NTT 東西より B フレッツサービスのメニューの一つとして導入されました。

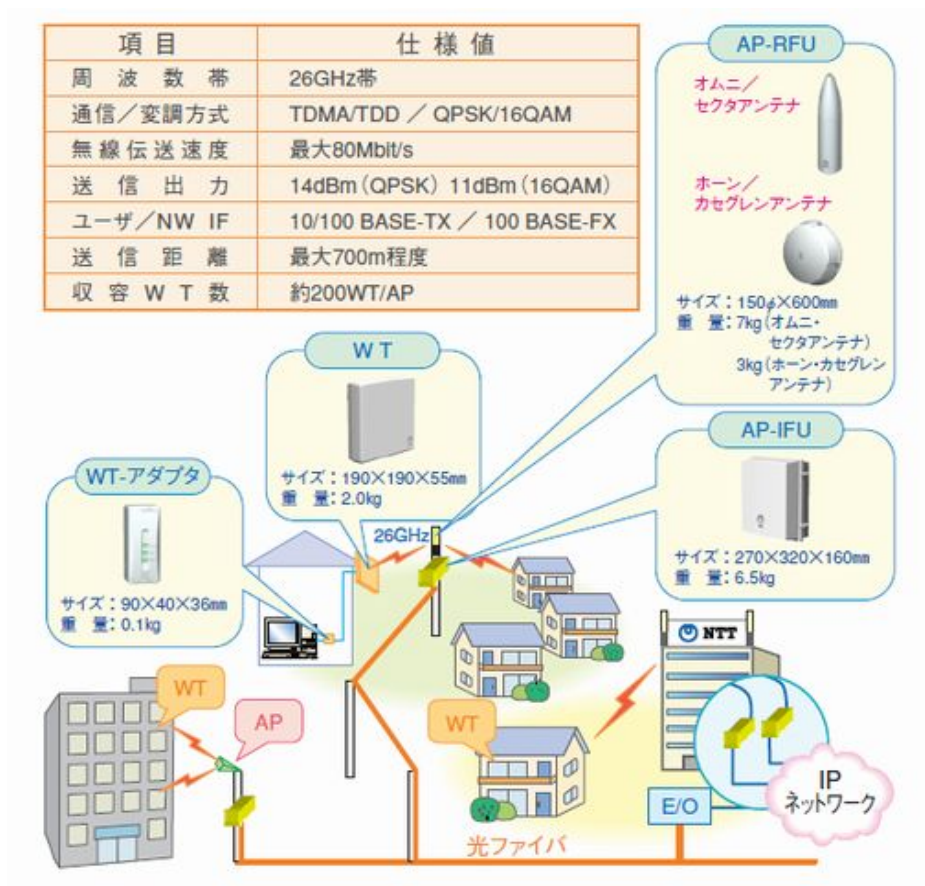


図 WIPAS ステップ 2 の概要